

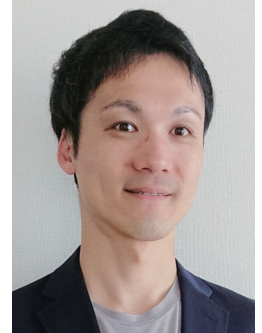
受領No.1458

ウイルスの院内感染予防に向けた 遠隔バイタル計測センサシートの開発

代表研究者 竹井 邦晴 大阪府立大学 教授
共同研究者 渡辺 心 順天堂大学 医学部 先任准教授

Wireless vital sensor sheet to prevent secondary infection of virus

Representative Kuniharu Takei, Osaka Prefecture University, Professor
Collaborator Shin Watanabe, Juntendo University, School of Medicine,
Associate Professor



研究概要

現在、新型コロナウイルス COVID-19 による世界的な感染拡大が大きな社会問題となっている。その一つの課題として、病院や軽症者滞在施設（ホテル）等で診察時に医師・看護師が感染者と物理的接触することによる二次感染があげられている。そこで本研究では、この二次感染を極力回避する絆創膏型のウェアラブルセンサシートの開発を実施する。これにより中症状以下の患者に本ウェアラブル機器を装着してもらい、患者のバイタルや身体の状態を遠隔で簡易に記録することで物理的接触による診察の機会を低減させる。さらに必要に応じてアラームを出すフィードバック制御型システムの開発とセンサシートとの融合により、より安全で安心な生活及び療養を可能とする。もしこのような機器が早期実現できれば、患者と医療従事者が直接接触することなく多くの患者モニタリングが可能となり、二次感染の抑制が期待できる。また常時見守りにより患者の不安要因を軽減できそれに加えて医師・看護師の負担軽減が見込める。もし COVID-19 が早い段階で終息したとしても様々なウイルスによる感染症のリスクは今後も途絶えることがなく、その需要は非常に大きいと期待できる。